

事業用自動車総合安全プラン2009

～地域における安全対策会議の
開催状況等～

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (イタルダデータ) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況	
北海道運輸局	北海道地域事業用自動車 安全対策会議	第3回 平成23年7月14日(金)	①北海道運輸局 ②北海道バス協会 ③北海道ハイヤー協会 ④全国個人タクシー協会北海道支部 ⑤北海道トラック協会、北海道適正化事業 実施本部 ⑥北海道自動車整備連合会 ⑦自動車事故対策機構 札幌主管支所 ⑧北海道警察本部 ⑨北海道地方交通運輸産業労働組合協議 会	①死者数:10年後半減 (平成20年19人を9人に) →(5年後14人に) ②人身事故件数:10年後半 減 (平成20年2,081件を1, 015件に) →(5年後1,500件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) <業態別目標> 1. 死者数 H25 H30 バス 0 0 ハイタク 2 1 トラック 12 8 2. 人身事故件数 H25 H30 バス 100 65 ハイタク 750 500 トラック 650 450	①死者数:23人 ②人身事故件数 :1,740件 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 2件	名称(北海道運輸局安全プラン2009)	
						具体的な取り組み	進捗状況
						①安全体質の確立	・事故防止会議:12回実施 ・安全マネジメント講習等:7回実施 ・運輸安全マネジメント評価:7社に対し実施 ・運輸安全マネジメント評価員研修:10名に対し実施 ・運行管理者講習 基礎講習19回、一般講習40回、特別講習5回 ・事故要因分析調査4件実施 ・整備管理者研修 選任前研修29回、選任後研修29回
						②コンプライアンスの徹底	・運送事業者に対する監査:1,487件実施 ・貸切事業者に対する重点監査:86件実施 ・街頭検査の実施 一般44回、時間外3回、構内84回、監査時2回 ・通達の発出 「バスの車両火災事故防止について」 「交通事故防止の徹底について」 「交通事故防止の再徹底について」 「冬期における事故防止について」 「平成23年度における事故防止について」
③飲酒運転の根絶	・通達の発出 「アルコール検知器備え付けの周知について」						

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況		
						名称(東北地域事業用自動車安全施策実施目標)		
						具体的な取り組み	進捗状況	
東北運輸局	東北地域事業用自動車 安全対策会議	第2回 平成22年3月9日(火)	①東北運輸局 ②東北バス協議会 ③東北ハイタク連合会 ④東北六県トラック協会連合会 ⑤自動車整備東北ブロック連絡協議会 ⑥自動車事故対策機構 仙台主管支所 ⑦東北地方交通運輸産業労働組合協議会	①死者数:10年後半減 (平成20年50人を20人に) →(5年後35人に) ②人身事故件数:10年後半減 (平成20年2,551件を 1,275件に) →(5年後1,570件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) <業態別目標> 1. 死者数 H25 H30 バス 0 0 ハイタク 0 0 トラック 35 20 2. 人身事故件数 H25 H30 バス 100 65 ハイタク 570 380 トラック 900 830	①死者数:40人 ②人身事故件数 :2,014人 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 :9件	名称(東北地域事業用自動車安全施策実施目標)		
						①事故防止	基礎講習19回、一般講習47回、特別講習14回 選任前研修23回、選任後研修21回 8件実施(バス3件、タクシー1件、トラック4件) 各種会議・研修時等において、メルマガ「事業用自動車安全通信」等を周知	
						②運輸安全マネジメント	15事業者に対し実施(バス10事業者、トラック5事業者)	
						③監査	685件実施(バス137件、タクシー125件、トラック423件) 事業停止 12件(トラック12件) 車両停止241件(バス35件、タクシー33件、トラック173件)	
						④車両管理	平成22年3月10日 「車輪脱落事故防止対策の再徹底について」 整備管理者講習時に車両管理等を指導 運行管理者講習時に車両管理等を指導 243回・19,161台実施(一般109回、時間外1回、構内121回、監査時10回、企業2回)	
						⑤年末年始輸送安全総点検	115回実施(バス38回、タクシー26回、トラック51回)	
						⑥飲酒運転撲滅	平成22年3月18日 「飲酒運転の撲滅に向けた取組について」 平成22年8月24日 「事業用自動車にかかる飲酒運転防止の徹底について」 平成23年6月17日 「事業用自動車にかかる飲酒運転防止の再徹底について」 「飲酒運転防止に関するアンケート」を実施 (5,385事業者へ配付し、3,081事業者から回答) 上記アンケート結果を分析し、運行管理者講習等で周知	

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (イタルダデータ) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況																									
						名称(北陸信越地域事業用自動車安全対策会議)																									
				具体的な取り組み	進捗状況																										
北 陸 信 越 運 輸 局	北陸信越地域事業用安全 対策会議	第3回 平成23年7月5日(火)	①北陸信越運輸局 ②北陸信越バス協会 ③北陸信越地域タクシー協議会 ④北陸信越ブロックトラック協会 ⑤北陸信越ブロック自動車整備連絡協議 ⑥自動車事故対策機構 新潟主管支所 ⑦北陸信越地方交通運輸産業労働組合協議 会	①死者数:10年後半減 (平成20年31人を15人に) →(当面、毎年5%ずつ削減 し、5年後23人に) ②人身事故件数:10年後半 (平成20年1,629件を81 件に) →(当面、毎年5%ずつ削減 し、5年後1,220件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) ※県(運輸支局)単位の事故 削減目標も設定 <業態別目標> 1. 死者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>23</td> <td>15</td> </tr> </table> 2. 人身事故件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>97</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>305</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>818</td> <td>545</td> </tr> </table>		H25	H30	バス	0	0	ハイタク	0	0	トラック	23	15		H25	H30	バス	97	65	ハイタク	305	205	トラック	818	545	①死者数:22人 ②人身事故件数 :1410件 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 :7件	名称(北陸信越地域事業用自動車安全対策会議)	
						H25	H30																								
バス	0	0																													
ハイタク	0	0																													
トラック	23	15																													
	H25	H30																													
バス	97	65																													
ハイタク	305	205																													
トラック	818	545																													
各県単位の協議会の設立		7月5日開催の第3回ブロック安全対策会議の席上におい て設置要請中であり、既に各支局で設置している事故防止対 策会議等との位置づけや調整等を踏まえて、各支局に設置 する方向で、具体的な進め方について検討している状況。 22年度の取り組み内容 1. 事故防止関係 ①事故防止対策会議26回、事故防止セミナー1回(179 名) ②運行管理者講習会(基礎15回、一般38回) ③整備管理者講習会(前45回、後24回) ④事故警報・防止対策文章の発出7件 2. 運輸安全マネジメント関係 ①制度の周知活動関係 ・事故防止対策会議管内26回、運輸安全マネジメント説明 会・セミナー4回開催 ②運輸安全マネジメント評価関係(2巡目を実施) ・対象事業者(4事業者)、拡大事業者(2事業者) ③運輸安全マネジメント評価員要請関係 ・管内評価員24名配置、評価員研修6名参加 3. 監査関係 ①一般監査は、臨店監査188件、呼出監査115件実施 ②重点監査は、貸切事業者65社、乗用事業者43社実施。 4. 街頭調査関係 ・街頭調査65回、12,165台実施。																													

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況																								
関東運輸局	関東地域事業用自動車 安全対策会議	第3回 平成23年6月23日	①関東運輸局 ②関東地区バス保安対策協議会 ③東京乗用旅客自動車協会 ④関東地区ハイヤー・タクシー協議会 ⑤全国個人タクシー協会関東支部 ⑥東京都トラック協会 ⑦関東トラック協会 ⑧自動車整備振興会関東ブロック連絡協議会 ⑨自動車事故対策機構 東京主管支所 ⑩関東地方交通運輸産業労働組合協議会 (平成22年度以降参加)	①死者数:10年後半減 (平成20年153人を70人 に) →(5年後105人に) ②人身事故件数:10年後半 減 (平成20年22,123件を1 1,700件に) →(5年後16,900件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) <業態別目標> 1. 死者数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>90</td> <td>60</td> </tr> </table> 2. 人身事故件数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>920</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>7970</td> <td>5470</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>8010</td> <td>5590</td> </tr> </table>		H25	H30	バス	0	0	ハイタク	15	10	トラック	90	60		H25	H30	バス	920	640	ハイタク	7970	5470	トラック	8010	5590	①死者数:133人 ②人身事故件数 :19929件 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 :19件	名称(関東地域事業用自動車安全施策実施目標)
						H25	H30																							
					バス	0	0																							
					ハイタク	15	10																							
					トラック	90	60																							
						H25	H30																							
バス	920	640																												
ハイタク	7970	5470																												
トラック	8010	5590																												
具体的な取り組み	進捗状況																													
①安全体質の確立	<ul style="list-style-type: none"> 安全マネジメント講習等:34回実施 運輸安全マネジメント評価:9社に対し実施 運行管理者講習 基礎講習68回、一般講習210回、特別講習30回 事故要因分析調査20件実施 事業用自動車事故要因分析・事故防止対策PT立ち上げ 整備管理者研修 選任前研修146回、選任後研修71回 車内事故防止啓発チラシの配布 海上コンテナ緊締装置のロック確認キャンペーン等4回実施 対自転車事故防止にかかるチラシの作成 																													
②コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 運送事業社に対する監査1,607回実施 貸切旅客事業者に対する重点監査161回実施 貨物自動車運送適正化事業実施機関との連絡会議24回実施 街頭検査の実施 一般129回、時間外20回、構内803回、監査時検査435回 通達発出 「事業用自動車運転者等の覚醒剤等使用の防止の徹底について」 																													
③飲酒運転の根絶	<ul style="list-style-type: none"> 通達発出 「酒気帯び運転等の防止について」 「酒気帯び運転の防止にかかる運行管理等の徹底について」 																													
④IT新技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> 先進安全技術研修会開催 																													
⑤道路交通環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> 通達発出 「乗合バス停留所等の点検について」 																													

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受 付から23年3月末日より 算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況	
中部 運輸 局	中部ブロック事業用自動車安 全対策会議	第4回 平成23年7月23日	①中部運輸局 ②(社)愛知県バス協会 ③(社)静岡県バス協会 ④(社)岐阜県バス協会 ⑤(社)三重県バス協会 ⑥(社)福井県バス協会 ⑦名古屋タクシー協会 ⑧愛知県タクシー協会 ⑨商業組合静岡県タクシー協会 ⑩岐阜県タクシー協会 ⑪(社)三重県旅客自動車協会 ⑫(社)福井県タクシー協会 ⑬(社)愛知県トラック協会 ⑭(社)静岡県トラック協会 ⑮(社)岐阜県トラック協会 ⑯(社)三重県トラック協会 ⑰(社)福井県トラック協会 ⑱(社)愛知県自動車整備振興会 ⑲(社)静岡県自動車整備振興会 ⑳(社)岐阜県自動車整備振興会 ㉑(社)三重県自動車整備振興会 ㉒(社)福井県自動車整備振興会 ㉓(独)自動車事故対策機構名古屋主管 支所 ㉔中部地方交通運輸産業労働組合協議 会	①死者数:10年後半減 (平成20年70人を35人に) →(5年後36人に) ②人身事故件数:10年後半 減 (平成20年5,567件を 2,784件に) →(5年後4,176件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) <業態別目標> 1. 死者数 H25 H30 バス 0 0 ハイタク 0 0 トラック 36 35 2. 人身事故件数 H25 H30 バス 201 134 ハイタク 1,200 800 トラック 2,775 1,850	①死者数: 47 人 ②人身事故件数 : 5,091 件 ③飲酒運転等 : 7件	名称(第4回中部ブロック事業用自動車安全対策会議)	
						具体的な取り組み 1. 2009プランの各種施策の周知 安全体質の確立に向けて ①関係団体への周知 ②安全マネジメント評価の実施 ③事業用自動車事故要因分析調査 ④事業用自動車事故要因分析調査 活用検討会 ⑤中部運輸局自動車事故防止セミ ナーの開催	進捗状況 関係団体が開催する事故防止会議等への出席 27回 ・義務付け事業者 バス7社、タクシー3社、トラック8社 ・義務付け外事業者 トラック1社 11件実施 管内担当者(PT)が事業用自動車事故要因分析調査を通じ て、テーマを定め、調査、分析、対策などを検討し、事故防止 セミナーにおいて報告発表を行った。 (平成22年度は、高齢者に係る事故について) 管内自動車運送事業者を対象に「高齢者の事故防止に向け て」をテーマとして事故防止セミナーを開催した。 (平成23年2月14日開催、465名の参加)
						2. 法令違反事業者等に対するコンプ ライアンスの遵守徹底 ①平成22年度監査及び処分結果 ②運行管理者講習 ③整備管理者研修 ④街頭検査	監査件数 バス232件、タクシー223件、トラック724件 処分事業者数 バス29社 タクシー54社 トラック189社 基礎講習 32回(4,819人) 一般講習 74回(9,952人) 特別講習 13回(290人) 選任前研修 26回(3,002人) 選任後研修 47回(4,668人) 街頭検査84回
						3. 飲酒運転の根絶	関係団体の事故防止会議、運行管理者講習等において、アル コール検知器を活用した点呼等について、重点施策として周 知を図っている。
						4. IT新技術の普及促進 5. 高齢者の事故防止対策 ①車内事故防止キャンペーン期間 中におけるバス添乗調査	平成22年8月27日「自動車技術安全・環境セミナー」を開催し、 ASV等の安全新技術・新長期排ガス規制対応車を展示し、新 技術・補助制度について紹介した。(145名 参加) 車内事故防止キャンペーン期間中において、各管内担当者が バスに乗車して、キャンペーン実施項目等(高齢者対策等)につ いて調査した。結果については、関係団体に報告し、事故防止 セミナー等に活用。 (延べ調査人数132人)

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況			
近畿運輸局	近畿地域事業用自動車安全対策会議	第4回 平成23年6月22日	近畿運輸局 近畿管区警察局 近畿地方整備局 近畿バス団体協議会 近畿ハイヤータクシー協議会 全国個人タクシー協会近畿支部 近畿トラック協会 近畿地区自動車整備連絡協議会 自動車事故対策機構大阪主管支所 近畿地方交運労協	①死者数:10年後半減 (平成20年68人を30人に) ②人身事故件数:10年後半減 (平成20年10,718件を5,300件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅)	①死者数:97人 ②人身事故件数: 10,257件 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 11件	名称(近畿グリーンナンバーセーフティプラン2010)			
						具体的な取り組み		進捗状況	
						1. 2009の施策の浸透・定着 ①第4回事故防止セミナーの開催 ②集団指導講習会開催 ③安全マネジメント		H23.3.2開催 約270名の参加 H22年度 38回開催し、延べ2,391名の参加 ・義務付け事業者 バス8社 タクシー4社 トラック4社 ・義務付け外事業者 評価実施10社 第三者認定機関1社	
						2. 法令違反事業者等に対するコンプライアンスの徹底 ①平成22年度監査及び処分結果		監査件数 バス293件 タクシー304件 トラック1,101件 処分件数 バス 車両停止81件 タクシー 許可取消2件 事業停止1件 車両停止101件 トラック 許可取消1件 事業停止4件 車両停止230件	
						②運行管理者講習		基礎講習 29回(4,854名) 一般講習 84回(13,229名) 特別講習 23回(551名)	
						③新規許可事業者講習		旅客事業者 12回(249名) 貨物事業者 6回(213名)	
						④事故防止コンサルティングの補助制度の周知		チラシを作成し、支局・関係団体等に配付	
						3. 事故多発運転者に対する指導徹底 ①自動車事故要因分析実施件数 ②事故防止対策の教育等に参考となる資料を事業者に提供		15件 旅客事業者2社	
						4. 飲酒運転ゼロに向けての指導徹底 ①アルコールが運転に及ぼす影響等の周知		平成22年12月に「事業用自動車の飲酒運転の根絶について」の通達を发出し、並びに、飲酒運転の危険性等を周知するためのチラシを作成して支局・関係団体等に配付	
						②アルコールチェッカーを使用しての点呼実施の周知		チラシを作成し、支局・関係団体等に配付	
5. 高齢者の事故防止対策 ①高齢ドライバーに対する安全対策の検討		高齢ドライバーに対する安全対策の勉強会を平成23年7月に立ち上げ、様々な分析調査を行い、平成24年3月めどに結果を出す予定							
②車内事故防止の安全対策の検討		本年度の業務検討会で検討を開始							
6. IT・新技術の更なる普及促進 ①イベント開催		平成23年6月に次世代自動車の展示・試乗会を和泉検査登録事務所で開催							
②ASV及びドラレコ・デジタコの補助制度の周知		本省よりのチラシを支局・関係団体等に配付							
7. 点検・整備の確実な実施の推進 ①整備管理者研修の開催		選任前研修 60回(3,162名) 選任後研修 68回(6,170名)							

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況																								
中国運輸局	中国地域事業用自動車 安全対策会議	第5回 平成23年8月4日(木)	①中国運輸局 ②中国バス協会 ③中国乗用自動車協会 ④(社)全国個人タクシー協会中国支部 ⑤中国トラック協会 ⑥中国自動車整備連絡協議会 ⑦自動車事故対策機構広島主管支所 ⑧中国地方整備局道路部 ⑨広島県警察本部交通部 ⑩中国地方交通運輸産業労働組合協議会	①死者数:10年後半減 (平成20年31人を15人に) →(5年後23人に) ②人身事故件数:10年後半減 (平成20年2,662件を1,400件に) →(5年後2,000件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅) <業態別目標> 1. 死者数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> </table> 2. 人身事故件数 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>120</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>700</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>1,100</td> <td>820</td> </tr> </table>		H25	H30	バス	0	0	ハイタク	2	1	トラック	21	14		H25	H30	バス	120	90	ハイタク	700	490	トラック	1,100	820	①死者数:53人 ②人身事故件数 :2,438件 ③飲酒運転等 : 7件 ・108条の34通知:5件 ・情報提供等:2件	名称(平成23年度中国地域事業用自動車安全施策実施目標)
						H25	H30																							
					バス	0	0																							
					ハイタク	2	1																							
					トラック	21	14																							
						H25	H30																							
バス	120	90																												
ハイタク	700	490																												
トラック	1,100	820																												
具体的な取り組み	進捗状況																													
①死者数などが増加で推移していることから目標達成に向けて低減目標を定め各業態一丸となって達成する方向性を示す(死者数 53人→30人など)	①当局を含め関係団体による取組の具体化(安全対策会議23,8から)を図り、逐次取り組んでいる。23年度目標:死者数30人、重大事故件数120件、23年7月末現在:死者数19人、事故件数71件)																													
②事故防止を目的として、自動車運送事業者等を対象に事故防止セミナーを開催	②開催に向け、担当者会議(第6回)を開催しテーマ等を決定し、事故調査、分析及び対策などの報告(安全推進企画会議(第1回))を行った。																													
③事故情報の提供を行う(多発傾向にある事故、交通環境の変化により注意が必要な事故等)	③運輸局ホームページに「健康起因による事故」「高速道路での追突事故」「道路合流時の死傷事故」の事例及び運転者指導のポイントなどについて掲載した。																													
④昨年多発した高速道路での事故及び飲酒運転などの再発防止の手段の一つとして運行管理者講習会等を活用した重点的な取組の周知	④運行管理者等講習会などの場において、「高速道における事故防止」「健康管理マニュアルの活用」「アルコール検知器を活用した点呼」について重点施策として周知している。																													
⑤運行管理者研修会(義務講習)の未受講者対策	⑤21,22年度の運行管理者研修受講者を「運送事業者監査総合情報システム」に入力し未受講運行管理者に対し、23年度講習受講について事業者あて通知を行った。(本年は広島で実施、来年度から全支局で実施)																													

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (イタルダ統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況	
						名称(四国地域事業用自動車安全施策実施目標)	
						具体的な取り組み	進捗状況
四国運輸局	四国地域事業用自動車 安全対策会議	第3回 平成23年3月11日(金)	①四国運輸局 ②四国トラック協会連合会 ③四国バス協会 ④四国ハイ・タク協議会 ⑤四国自動車整備振興会連合会 ⑥全国個人タクシー協会四国支部 ⑦自動車事故対策機構 高松主管支所 ⑧四国地方交通運輸産業労働組合協議会 (第3回会議から参加)	①死者数:10年後半減 (平成20年24人を10人に) →(5年後15人に) ②人身事故件数:10年後半減 (平成20年1,354件を670 件に) →(5年後1,000件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅)	①死者数 :15人 ②人身事故件数 :1,287件 ③飲酒運転 108条の34通知 :2件	1. 安全体質の確立	<ul style="list-style-type: none"> 安全マネジメント講習等:8回実施 各団体主催会議での安全に関する講習:7回 バス事業者事故防止部会への出席:4回 運輸安全マネジメント評価:6社に対し実施 運行管理者講習 基礎講習9回、一般講習27回、特別講習6回 事故要因分析調査:4件実施 整備管理者研修 選任前研修25回、選任後研修14回 車内事故防止啓発パンフレットの地方自治体広報紙への掲載依頼
						2. コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 運送事業者に対する監査:503回実施 貸切旅客事業者に対する重点監査:41回実施 貨物自動車運送適正化事業実施機関との連絡会議:42回実施 街頭検査の実施 一般55回、時間外1回、構内38回 通達発出 「事業用バスの車両火災事故の防止について」 「事業用自動車における事故防止の徹底について」
						3. IT新技術の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ASV及びびドラレコ・デジタコの補助制度の周知 本省よりのチラシを支局・関係団体等に配賦
						4. 優良運転者認定制度	<ul style="list-style-type: none"> 優良運転者に対し認定書の交付及び優良運転者の運転車両に 認定標章の表示 平成21年度 291名認定 (バス20名、トラック178名、法人76名、個人17名) 平成22年度 153名認定 (バス 0名、トラック116名、法人14名、個人23名)

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年故状況 (警察庁統計) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況	
九州運輸局	九州地域事業用自動車 安全対策会議	第3回 平成23年6月30日(木)	①九州運輸局 ②九州バス協会 ③九州乗用自動車協会 ④全国個人タクシー協会九州支部 ⑤九州トラック協会 ⑥自動車整備振興会九州連合会 ⑦自動車事故対策機構 福岡主管支所 ⑧九州地方交通運輸産業労働組合協議会	①死者数:10年後半減 (平成20年61人を30人に) →(5年後に43人に) ②人身事故件数:10年後半減 (平成20年6,325件を3,200件に) →(5年後に4,740件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅)	①死者数:55人 ②人身事故件数:5903件 ③飲酒運転等 ・108条の34通知 11件	名称(九州地域事業用自動車自動車安全対策)	
						具体的な取り組み	進捗状況
						安全体質の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸安全マネジメント説明会・セミナー14回実施 ・マネジメント評価実施21事業者を実施 ・事故防止会議20回実施 ・運行管理者講習会71回実施 ・整備管理者講習会55回実施 ・検査員研修67回実施 ・整備主任者研修82回実施 ・街頭検査168回実施 ・年末年始総点検査察・指導25回実施 ・メールマガジンの周知とチラシの配布 ・周知のため改正通達等、局ホームページへ掲載 ・周知のため車輪脱落事故防止のチラシ配布 ・自動車事故要因分析調査7事業者実施 ・海上コンテナが転落する重大事故が多発したため再発防止と緊締装置の確実な励行を啓発するため緊締装置のロック状況等に特化した街頭検査を実施
						コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者監査(臨店303回、呼出等1835回)実施 ・重点監査(貸切)118回実施 ・相互通報制度による監査98回実施 ・ホイールクレーン脱落監査1回実施
						飲酒運転の根絶	<ul style="list-style-type: none"> ・運行管理者等の講習、研修で飲酒運転根絶の周知 ・再周知のため「アルコール検知器の備え及び常時有効保持等の周知徹底について」の周知文の発出
IT新技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・周知のためASV、ドラレコ・デジタコ等の補助制度チラシの配布 ・周知のためASV、ドラレコ・デジタコ等の補助申請要領等を局、ホームページへ掲載 						

地域における安全対策会議の開催状況等について

局	会議名称	開催日等	構成メンバー	目標	平成22年事故状況 (イタルダデータ) ※③は、22年4月以降受付 から23年3月末日より算出	地方運輸局独自の取り組みとその進捗状況												
沖 縄 総 合 事 務 局	沖縄地域事業用自動車 安全対策会議	第3回 平成23年7月6日(水)	①沖縄総合事務局運輸部 ②沖縄総合事務局陸運事務所 ③沖縄県バス協会 ④沖縄県ハイヤー・タクシー協会 ⑤全国個人タクシー協会沖縄支部 ⑥沖縄県トラック協会 地方適正化事業実 施本部 ⑦沖縄県自動車整備振興会 ⑧自動車事故対策機構 沖縄支所 ⑨沖縄地方交通運輸産業労働組合協議会	①死者数:10年後半減 (平成20年1人を0人に) →(5年後0人に) ②人身事故件数:10年後半 減 (平成20年563件を282件 に) →(5年後420件に) ③飲酒運転ゼロ(撲滅)	①死者数1人 ②人身事故件数463件 ③飲酒運転等 ・108条34通知 3件(3件) ・108条34に基づく監 査 3件(3件)	名称(沖縄地域事業用自動車安全施策実施目標)												
						具体的な取り組み	進捗状況											
						1. 事故防止の取組	・安全マネジメント評価実施:1事業者 ・運行管理者講習 基礎講習2回(359名)一般講習7回(830名)特別講習1回(21名) ・自動車事故要因分析実施件数:2件 交通事故要因分析報告書の関係団体への配布 ・整備管理者研修 選任前研修6回(315名受講) 選任後研修7回(698名受講) ・本省からの自動車点検整備のチラシを関係団体へ配布等多種配 布											
2. 法令遵守の徹底	・事業者監査 臨店監査43件 呼出監査70件 呼出指導55件 重点監査20件 ・貨物自動車運送適正化事業実施機関との連絡会議:1回 ・交通事故防止事業者大会への講師派遣:2回 ・個人タクシー許可交付時の講習 ・貨物自動車運送事業(新規)講習会 ・処分基準改正説明会の開催:2回 ・街頭検査33件実施																	
3. 飲酒運転根絶の取組	・通達の発出 ・事業者大会での講話:2回 ・運行管理者講習会(10回)での周知 ・アルコールチェッカーの設置チラシの関係団体への配布																	
			<業態別目標> 1. 死者数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		H25	H30	バス	0	0	ハイタク	0	0	トラック	0	0			
	H25	H30																
バス	0	0																
ハイタク	0	0																
トラック	0	0																
			2. 人身事故件数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>19</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ハイタク</td> <td>344</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>57</td> <td>38</td> </tr> </table>		H25	H30	バス	19	13	ハイタク	344	231	トラック	57	38			
	H25	H30																
バス	19	13																
ハイタク	344	231																
トラック	57	38																